

令和4年度事業報告

〔自 令和4年4月1日 ～ 至 令和5年3月31日〕

〔ミッション〕

横須賀市の都市像「国際海の手文化都市」の実現を支援するために、市民の国際感覚を高め、市民レベルの多文化共生社会をめざす国際交流事業を推し進めます。

- 【1】 自国の文化を知るとともに、多様な文化への理解を深め、多文化共生の街づくりをめざす。
- 【2】 すべての人々の人権が尊重され、一人ひとりが大切にされる社会づくりに貢献する。
- 【3】 各人がもつ能力や経験を生かし、夢があって、ワクワクして、躍動感があり、明るく楽しいボランティア活動ができる場をつくる。

〔事業概要〕

- 【1】 会員を大切にされた協会運営を心がけ、ミッションの実現をめざし、一つひとつの事業を遂行した。

登録状況：【個人会員】361人（正会員285人・家族会員2人・準会員74人）

【団体会員】 10団体 【賛助会員】 19団体

- 【2】 コロナ禍で出来る範囲で、会員のボランティア参加登録を勧めると同時に、ボランティアが活動しやすい環境作りを考慮し、適切な活動の形式を模索した。
- 【3】 コロナ禍でも出来る活動形式で、会員相互の交流を深めると同時に、会員のみならず広く市民に対しても国際交流を行なう機会を提供するように努めた。
- 【4】 市民生活の安全を第一としてとらえ、特に外国籍市民の防災意識の啓発及び災害発生時の安全確保が行える体制を整備するよう市民と一体になって努力した。
- 【5】 認定及び市の指定資格取得により、寄付金獲得の活動を実施した。

I 運營業務

(1) 会議体

① 理事会

8月22日（月）理事・運営委員合同会議（各事業中間報告 他）、11月7日（月）理事・運営委員合同会議（令和5年度予算案 他）、1月16日（月）理事・運営委員合同会議（監査役後任、令和4年度収支予想 他）、3月27日（月）理事・運営委員合同会議（令和4年度収支決算、令和5年度予算案 他）を実施。

② 運営委員会

協会の運営に関する事項を審議し、重要事項については理事会への提案内容を纏めその承認を求めた。令和4年度は4回、理事会と合同で開催した。

③ 事業執行委員会

理事、執行責任者、事業部門代表者などが参加。事業執行の円滑化を図ると共に事業の運営管理を行なった。令和4年度は4回開催。

④ 総会

5月28日（土）第20回通常総会開催。

第20回通常総会は新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑み、議決権行使書によって開催した。議事録作成のため当日集まった、議決権のある出席者4名及び議決権行使書による出席者151名、合計155名の審議により、令和3年度事業報告及び決算報告、令和4年度事業計画及び活動予算に関して提案通り可決された。

(2) 認定資格取得と横須賀市の指定資格取得による義務業務

- ① 年度事業終了後、県NPO事務局及び横須賀市に、所定の書式に基づき、その事業年度の事業報告を作成し報告。
- ② 定められた書類を作成し、閲覧希望者に対する公開措置を実施した。
- ③ 法人の情報公開性を高める為、定められた書式にてホームページ上に公開掲載した。
- ④ コンプライアンス（法令遵守）を徹底した。

(3) 情報提供

- ① 情報紙発行
ニュースポット：8月に73号を発行した。部数は1,000部。
1月に74号を発行した。部数は1,000部。
- ② メールマガジンで6回の情報提供
会員に対して事業活動の案内などを速やかに連絡し、メールによる情報提供をタイムリーに行った。メールアドレスの無い希望者には、FAXや郵送で同じ情報を提供した。
- ③ ホームページによる情報提供
ホームページの内容充実とメンテナンスを随時行い、常に新しい情報の提供を行った。

II 自主事業

(1) 国際協力支援事業

- ① 窓口翻訳
外国人、市民などから窓口にて依頼を受けた、戸籍謄本、結婚証明書、出生証明書などの行政書類の翻訳を行った。 111件 受益者74名/従事者5名
- ② 通訳・翻訳
横須賀市、企業などからの依頼による通訳・翻訳業務を行った。
通訳19件 受益者多数/従事者37名、 翻訳5件 受益者多数/従事者14名
- ③ 国際貢献 フェアトレードコーヒー販売
コロナ禍のため販売を一時中止していたが、事務局での袋売りを再開し、ジャパンフェスティバルでホットコーヒーの販売を再開した。
- ④ 商工会議所パートナー事業
商工会議所との連携を基に、関連する情報を共有化し、積極的にパートナー事業に協力した。このパートナー事業も10年を経過し、商工会議所の信頼も高く、大きな成果を上げているので、さらに連携を強化して業容の範囲拡大をすすめる。

(2) 国際協力交流事業

① キッズフェスティバル

10月16日(日) コロナ感染症対策を講じながら実施。 受益者87名/従事者26名

② 日本文化体験教室(JFY)年2回開催

流派・教室・家元等の制度を越えて日本文化を紹介するグループが、横須賀市及び近隣に在住・在勤・在学する市民および外国人を対象に体験教室を2回開催した。このうち1回は規模を大きくし、「ジャパン フェスティバル イン よこすか」を実施し、日本人と外国人の交流に重点を置いたイベントとして開催した。

第1回 11月19日(土) 受益者73名(うち外国人57名)/従事者他73名

第2回 3月12日(日)「第26回ジャパン フェスティバル イン よこすか」と合同開催。

受益者330名(うち外国人142名)/従事者他219名

③ 世界の料理教室

世界各国の講師による家庭料理に親しみながら、様々な国の生活・文化・習慣などを学び国際理解の推進を図った。

第1回 8月3日(水) ネパール料理(タバ) 受益者16名/従事者5名

第2回 10月13日(木) 韓国料理(福田知恵) 受益者24名/従事者4名

第3回 12月12日(月) 台湾料理(清水チェンチェン) 受益者16名/従事者5名

第4回 3月29日(水) アメリカ料理(デイビッド・フランクリン)

受益者17名/従事者5名

(3) 国際協力啓発事業

① 外国語講座

外国人とのコミュニケーションの基礎手段である外国語、とりわけ市民のボランティア活動に必要な高い英会話をはじめ、韓国語、中国語など多文化共生社会を視野に入れた外国語講座を開催した。横須賀市のコロナ感染症対策方針に沿って開講した。

1学期:講座数15クラス 受益者123名/従事者(講師)10名

2学期:講座数16クラス 受益者120名/従事者(講師)10名

3学期:講座数16クラス 受益者110名/従事者(講師)10名

出前英会話講座:ハッピープリスクール 受益者15~20名/従事者(講師)1名

(4) 自主活動

① ボランティア交流会

新型コロナウイルス感染拡大状況を考慮し、開催を中止した。

② ホームステイ・ホームビジット

今年は依頼が無かった。

③ 国際理解講座

新型コロナウイルス感染状況により、学校等が活動を縮小したため依頼が無かった。

④ 英語ガイドツアー

英語でのツアーを開催し、外国人との交流を図った。

第1回	10月15日(土)	金沢八景	受益者17名(うち外国人8名)/従事者7名
第2回	2月25日(土)	横須賀上町	受益者24名(うち外国人14名)/従事者6名

Ⅲ 受託事業

(1) 国際協力支援事業

① 外国人生活相談

横須賀に在住・在勤・在学する外国人が、生活の場で出会う悩み、問題などの相談に応じた。相談は言語別に、曜日を決めて対応した。また、年に数回、横須賀市役所と追浜行政センターで出張相談を行った。

相談件数 136 件 受益者 75 名/従事者 7 名

国別では、フィリピン 16 件、日本 15 件、ネパール 12 件、アメリカ 10 件、ペルー 7 件、ベトナム 4 件、中国 3 件、ブラジル 3 件、インドネシア 1 件、韓国・朝鮮 1 件、コロンビア 1 件、タイ 1 件、ロシア 1 件

② 日本語会話サロン

横須賀市に在住・在勤・在学する外国人を対象に、日常生活に必要な日本語会話能力を高めるため、会話サロンボランティアの協力のもとに、年間で 340 回の教室を開いた。子供対象のサロン「てらこやさん」を開講した。

1 学期 (4~7 月) 受益者 101 名/従事者 81 名

2 学期 (9~12 月) 受益者 97 名/従事者 82 名

3 学期 (1~3 月) 受益者 112 名/従事者 86 名

・日本語指導講座「はじめての日本語ボランティア」: 10 月 8、15、22 日 (土)

講師を招き、日本語ボランティアに興味を持つ市民に「日本語支援活動の実際と指導のコツ」について講義をしてもらい、会話サロンボランティアの増員につなげた。

受益者 17 名/従事者 11 名

・指導者交流会: 6 月 23 日 (木) 第 1 部 CLAIR 主催のオンライン対応能力向上研修会

第 2 部 会話サロン現状報告 受益者 13 名/従事者 3 名

・子供サロン対象研修会: 9 月 22 日 (木) 教育委員会支援教育課出前講座

受益者 9 名/従事者 5 名

・学習会: 11 月 24 日 (木) 教材学習

受益者 13 名/従事者 1 名

③ 外国人防災啓発事業

災害時通訳翻訳ボランティア研修: 3 月 12 日 (日)

ジャパン フェスティバル イン よこすかを利用し、防災コーナーを設置。災害時通訳ボランティアも加わり、外国人へ防災に関する情報を提供した。

受益者 62 名/従事者 2 名

(2) 国際協力啓発事業

① 国際ユースフォーラム

新型コロナウイルス感染拡大のため、昨年同様、ZOOM を使用し、オンラインで姉妹都市や市内の青少年が、それぞれの都市の紹介や意見交換を行い、相互理解と交流を深めた。

・12 月 3 日 (土) ヴェルクよこすか及び参加者自宅

第 1 部: 姉妹都市交換学生 OGOB によるプレゼンテーション、各姉妹都市学生の動画発表

(3) 姉妹都市交換学生派遣・受入事業

新型コロナウイルス感染拡大のため、開催を中止した。

・姉妹都市交換学生プログラム写真展

4月1日（金）～4月15日（金） モアーズシティ

11月7日（月）～11月24日（木） モアーズシティ

3月13日（月）～3月30日（木） モアーズシティ

IV その他の事業

今年度は、その他の事業（収益事業）に係る活動は実施していない。